

平成 26 年度

公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第 30 回総会
議案書

日 時：平成 26 年 4 月 23 日（水） 13：30～14：30
場 所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶
3. 議 事

第 1 号議案	平成 25 年度事業報告
第 2 号議案	平成 25 年度収支決算報告及び会計監査報告
第 3 号議員	平成 26 年度事業計画（案）
第 4 号議案	平成 26 年度収支予算（案）
第 5 号議案	役員改選

4. 報 告
5. 閉 会

第1号議案 平成25年度事業報告

(1) 総会, 意見交換会

- ・開催日：4月25日(木)
- ・場所：仙台市戦災復興記念館・記念ホール
- ・参加者：68名
- ・意見交換会：ホテルグランクラス仙台南分町(参加者50名)

(2) シンポジウム

- ・開催日：平成25年4月25日
- ・場所：仙台市戦災復興記念館・記念ホール
- ・テーマ：「空間把握・解析技術の進展と斜面防災への活用」
- ・内容：斜面防災に関わる地理空間情報とその解析技術を総括すると同時に、その活用の可能性を議論した。
- ・講演者：6名(宮城豊彦教授, 内山庄一郎氏, 横山隆三氏, 林一成氏, 小荒井衛氏, 檜垣教授)
- ・総合討論(司会：内山庄一郎氏)
- ・参加者：113名

(3) 現地検討会

- ・開催日：10月10日(木)・11日(金)
- ・場所：秋田県砥沢地すべり
- ・会場：フォレスト鳥海・会議室
- ・テーマ：「秋田県・砥沢地区 大規模岩盤地すべりにおける諸問題とその対応」
- ・内容：特にすべり面判定手法, すべり面の変動把握, 対策工の配置計画, 対策工効果の評価等に注目し, 初日午後に砥沢地すべりの現地視察を行い, 翌日の午前にフォレスト鳥海・会議室において討論を行った。
- ・参加者：44名

(4) 講習会

- ・当初計画：空中写真判読とGIS等の講習会(7~10月頃を目途)を企画
- ・実施：見送り

(5) 社会貢献活動, 会勢活動

a) 土砂災害緊急調査団

- ・開催日：9月1日(日)
- ・内容：8月9日秋田岩手豪雨により被災した秋田県仙北市供養仏地区の土砂災害調査を砂防学会との共同で実施した。
- ・実施者：5名

b) 講師派遣

①宮城県砂防ボランティア協会技術講習会

- ・開催日：5月16日(木)
- ・テーマ：急傾斜地点検時の留意点(東北地方及び宮城県の地形地質の特徴, 地形地質と崩壊形態, 点検時の着眼点, 点検結果のまとめと評価方法等)
- ・講師：三上運営委員

②山形県砂防ボランティア協会技術講習会

- ・期 日：6月21日（金）
- ・テーマ：AHP法でみる地すべり地形危険度判定
- ・実施者：山科幹事長

③地すべり監視体制，ならびに緊急対応法市区に関する実地見学

- ・期 日：7月25日（木）
- ・主 催：クロアチア災害軽減プロジェクト（丸井教授：JICA，JST）
- ・参加者：丸井教授，王特任教授
Mr.Pavle Kainic，Mrs.Kristine Masrtinovic(Zagreb City OEM)
- ・実施者：濱崎副支部長，山科幹事長

④平成25年度2協会合同技術講習会（山形県地質土壌調査業協会・山形県建設コンサルタント協会）

c) 栗駒山麓ジオパーク推進協議会

①栗駒山麓ジオパーク推進協議会設立総会

- ・期 日：7月7日（日）
- ・主 催：栗原市
- ・出 席：千葉支部長，宮城運営委員

②栗駒山麓ジオパーク推進協議会

- ・期 日：8月1日（木）
- ・主 催：栗原市
- ・出 席：千葉支部長，宮城運営委員

(6) 東日本大震災関連の活動

a) 東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会定例会議

- ・概 要：7月協会の定例会議が昨年度に引き続き，毎月一回を原則として開催され，震災調査報告，およびその報告書作成などについて話し合われた。
2年間にわたり調査研究活動を行って纏めた報告書のDVDを発刊することになった。東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会報告書 DVD は，土木学会東北支部のHPにて受付け中。
- ・参加者：千葉支部長

(7) 委員会，幹事会，役員会

a) 運営委員会

- ・開催日：3月18日（火）
- ・場 所：復建技術コンサルタント 会議室
- ・参加者：17名
- ・内 容：平成25年度事業報告（案），収支決算（案），平成26年度事業計画（案），予算（案）等について審議を行い，支部総会に諮る内容として了承を得た。

b) 拡大幹事会

①第1回

- ・開催日：9月14日（火）
- ・場 所：東北工業大学一番町ロビー会議室
- ・参加者：13名
- ・内 容：10月に開催される現地検討会準備作業の分担について審議した。

②第2回

- ・開催日：2月8日（土）
- ・場 所：東北工業大学一番町ロビー会議室
- ・参加者：12名
- ・内 容：3月18日開催予定の支部拡大運営委員会に提出する議題（案）について審議した。

第2号議案 平成25年度事業報告

(収入の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算	本年度決算	増減	備考
協賛金・寄付金	480,000	460,000	20,000	
支部協賛金	480,000	460,000	20,000	
事業収入	930,000	682,000	248,000	
意見交流会	180,000	225,000	△ 45,000	
現地検討会	450,000	457,000	△ 7,000	
講習会	300,000	0	300,000	
雑収入	0	276	△ 276	
利子	0	276	△ 276	
その他	0	0	0	
当期収入合計	1,410,000	1,142,276	267,724	
前期繰越収支差額	1,618,380	1,618,380	0	
収入合計	3,028,380	2,760,656	267,724	

(支出の部)

(単位：円)

科目	本年度予算	本年度決算	増減	備考
総会関係費	30,000	34,120	△ 4,120	
事業企画費	125,000	56,373	68,627	
運営委員会	5,000		5,000	
幹事会	25,000	44,943	△ 19,943	
役員会	5,000		5,000	
部会	5,000		5,000	
通常旅費・交通費	50,000	11,430	38,570	
緊急調査費	30,000		30,000	
資料	5,000		5,000	
事業運営費	1,240,000	814,377	425,623	
意見交流会	180,000	246,000	△ 66,000	
シンポジウム	200,000	123,355	76,645	
現地検討会	500,000	445,022	54,978	
会勢活動	30,000		30,000	
他学会共催行事	30,000		30,000	
講習会	300,000		300,000	
管理費	273,000	166,266	106,734	
ホームページ	33,000	33,411	△ 411	
通信運搬費	100,000	32,129	67,871	
事務費	40,000	726	39,274	
事務委託費	100,000	100,000	0	
予備費	50,000	0	50,000	
当期支出合計	1,718,000	1,071,136	646,864	
当期収支差額	△ 308,000	71,140	△ 379,140	

会計監査報告

平成 25 年度（公社）日本地すべり学会東北支部の会計監査の結果、適正に会計処理されていると認めます。

平成 26 年 4 月 10 日

監事 齋藤春美 印

監事 小杉徳彦 印

第 3 号議案 平成 26 年度収支予算案

(1) 支部総会

①日 時：平成 26 年 4 月 23 日（水）13 時 30 分～14 時 20 分

②場 所：仙台市戦災復興記念館

(2) シンポジウム

①日 時：平成 26 年 4 月 23 日（水）14 時 30 分～17 時 30 分

②場 所：仙台市戦災復興記念館

③テーマ：東北の地震と地すべり，その知見と教訓

－2008 岩手・宮城内陸地震と 2011 東北地方太平洋沖地震を振り返って－

- ④趣 旨：東北地方ではここ数年で巨大地震に何度も見舞われ、直接的な被害もさることながら地すべりや崩壊など多数発生し、これまで多くの犠牲者を出すとともに生活基盤を根底から覆す甚大な被害を蒙った。特に本年は2008岩手・宮城内陸地震から6年、2011年東北地方太平洋沖地震から3年を経て、これまで地すべり学会ならびに他学会に所属する多くの研究者、技術者がこれらの調査・研究に参加し、新たな研究手法が試みられるとともに、多くの知見や教訓がそろってきた。

本シンポジウムではこれらの地震地すべりの研究成果を総括するとともに、今後の地すべり学会の地震時の斜面災害に対する取り組み方、社会貢献などについて議論する。

- ⑤K W：地震地すべり，調査解析手法，危険度評価，対策工，社会貢献

⑥講 演：

・【基調講演】

タイトル：2008岩手・宮城内陸地震と2011東北地方太平洋沖地震を振り返って

講 演 者：宮城豊彦教授（東北学院大学）

・【講演2】

タイトル：FEM地震応答解析と地すべりの発生メカニズムについて

講 演 者：若井明彦教授（群馬大学）

・【講演3】

タイトル：2011東北地方太平洋沖地震での福島県内火山灰地域で発生した地すべりから得た知見

講 演 者：梅村 順講師（日本大学）

・【講演4】

タイトル：2011東北地方太平洋沖地震での宅地のすべり変状と対策

講 演 者：佐藤真吾氏（株式会社復建技術コンサルタント）

・【講演5】

タイトル：2011東北地方太平洋沖地震での松島湾での斜面崩壊と知見

講 演 者：千葉則行教授（東北工業大学）

・【講演6】

タイトル：地すべり発生の分布と地形地質から得た地すべり要因に関する知見

講 演 者：濱崎英作氏（株式会社三協技術/株式会社アドバンテクノロジー）

・【総合討論】

司 会：林一成氏（奥山ボーリング株式会社）

(3) 意見交換会

①日 時：平成26年4月23日（水）18時00分～20時00分

②場 所：ホテルグランテラス仙台国分町（旧ホテルリッチフィールド）

(4) 現地検討会

①計画時期：平成25年10月を予定

②計画場所：山形県内の地すべり地

③そ の 他：H24より輪番制（山形－秋田－福島－宮城－岩手－青森）に戻り、5巡目に入っている。

(5) 社会貢献・会勢活動

①緊急災害時の調査団派遣（調査団長：支部長，団員：対象県，近隣県の対応可能な支部員を中心に編成）

②出前講座：行政，関係団体などが主催する研修会への講師派遣（広報を積極的に行う）

- ③小中高校などの防災教育への取り組みを模索したい。
- ④栗原市ジオパーク構想におけるビューポイントの設定や、ジオガイド養成講座などへの支援。

(6) 他学協会との交流活動

- ①各種行事を共催，後援などのかたちで関連学会・協会などに働きかける。

(7) 広報活動

- ①支部のホームページで情報発信を行う。

(8) 幹事会など

- ①運営委員会（開催月：3月）
- ②幹事会（支部総会開催前，現地検討会開催前，支部運営委員会開催前，計3回）
- ③役員会（随時開催）

第4号議案 平成26年度収支予算案

(収入の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	差異	備考
協賛金・寄付金	480,000	480,000	0	
支部協賛金	480,000	480,000	0	
事業収入	630,000	930,000	△ 300,000	
意見交流会	180,000	180,000	0	
現地検討会	450,000	450,000	0	
講習会		300,000	△ 300,000	
雑収入	480	0	480	
利子	480	0	480	
その他	0	0	0	
当期収入合計	1,110,480	1,410,000	△ 299,520	
前期繰越収支差額	1,689,520	1,618,380	71,140	
収入合計	2,800,000	3,028,380	△ 228,380	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	差異	備考
総会関係費	50,000	30,000	20,000	
事業企画費	125,000	125,000	0	
運営委員会	5,000	5,000	0	
幹事会	25,000	25,000	0	
役員会	5,000	5,000	0	
部会	5,000	5,000	0	
通常旅費・交通費	50,000	50,000	0	
緊急調査費	30,000	30,000	0	
資料	5,000	5,000	0	
事業運営費	860,000	1,240,000	△ 380,000	
意見交流会	240,000	180,000	60,000	
シンポジウム	150,000	200,000	△ 50,000	
現地検討会	450,000	500,000	△ 50,000	
会勢活動	10,000	30,000	△ 20,000	
他学会共催行事	10,000	30,000	△ 20,000	
講習会		300,000	△ 300,000	
管理費	200,000	273,000	△ 73,000	
ホームページ	30,000	33,000	△ 3,000	
通信運搬費	30,000	100,000	△ 70,000	
事務費	40,000	40,000	0	
事務委託費	100,000	100,000	0	
予備費	0	50,000	△ 50,000	
当期支出合計	1,235,000	1,718,000	△ 483,000	
当期収支差額	△ 124,520	△ 308,000	183,480	
次期繰越収支差額	1,565,000	1,310,380	254,620	

第5号議案 平成26・27年度支部役員改選

支部運営委員会（平成26年3月18日開催）の推薦

- ・支部長：奥山武彦氏（山形大学農学部教授）
- ・副支部長：橋本芳治氏（宮城県防災砂防課長）
- ・副支部長：森屋 洋氏（奥山ボーリング株式会社）
- ・監 事：小杉徳彦氏（宮城県森林整備課長）
- ・監 事：三上登志男氏（株式会社復建技術コンサルタント）

〈参考：支部規程より〉

第3条 支部に役員，顧問，運営委員，幹事長，副幹事長，監事を置く。

顧 問 若干名
支 部 長 1名（役員）
副支部長 若干名（ 〃 ）
監 事 2名（ 〃 ）
運営委員 若干名
幹 事 長 1名
副幹事長 若干名
監 事 若干名

第4条 役員の任期は2年とする。再任は妨げない。前年度の運営委員会が支部会員のうちから推薦し，総会において承認を得る。

2 顧問，運営委員，幹事長，副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。

○報告事項

a) 本部開催事業

①総会，およびシンポジウム

- ・日 時：平成26年6月20日（金）10時～17時
- ・場 所：国立大学財務・経営センター東京事務所
- ・シンポジウム：大規模地震に備えた地すべり技術の展望
- ・申 込 期 限：6月7日

②第53回研究発表会，現地見学会

- ・県民講演会：平成26年8月19日（火）
- ・意見交換会：8月20日（水）
- ・現地見学会：8月22日（斜面崩壊実験，茨城県北ジオパーク，筑波山の成り立ちと土砂災害）
- ・場 所：独立行政法人防災科学技術研究所（茨城県つくば市）
- ・申 込 期 間：4月17日～7月18日

b) 第54回研究発表会，現地見学会

- ・開 催 地：山形
- ・準備会開催：平成26年4月12日
- ・大会事務局長：八木教授（山形大学）
- ・開 催 日：平成27年8月
- ・事業計画の策定

- ・準備委員会，実行委員会，幹事会，事務局の立ち上げと検討実施
- ・つくば大会での引き継ぎとシミュレーション
- ・支部予算とは別立て